



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
4	7	8	5	6	7	7

☆ナイス・ホーム(登録者 17名/定員 21名)

☆愛宕の家(入居者 15名/定員 17名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ ☆打太鼓

～上記を参考にご利用ください～

《10月予定》

- 7日・8日 遠足 ※外食DAYはありません。
- 20日 避難訓練
- 22日 運動会
- 29日 誕生日会
- 小規模外部評価調査

不定期行事

その日の天気や意欲等で状況判断して、外出先一覧を参考に社会生活参加します

全てに意味がある / ナイス・ホーム

兼務の私は、利用者さんと関わる前は必ず、「最近変わったことない?」「体調どうですか?」と専任のスタッフへ声をかける。ところが、この間のナイス・ホームのカンファで、Yさんの服薬介助が他のスタッフの対応と違う事に気付いた。『えー!!だって、前は〇〇だったのに!!?』と思わず声に出た。他のスタッフは答えた、『最近のYさんは、自分で薬の袋を開けて、小さな錠剤を落とさずに飲むことが難しくなっている。だからよくテーブルの下に錠剤が落ちている。だから、ちゃんと最後まで見守りをするようになったんだ。』と聞いた。理由を聞けばなるほど納得。

利用者さんの体調の把握、過ごしやすい環境で生活を送ってもらうためにも、どうしてこの対応になっているのか…、関わり方の理由を確認し、理解する事が大切だと思った。(T/M)



自分で考えるっていいね / ナイス・キッズ

長男は0歳児からキッズを利用しています。少人数で、(時には1対1で)その子に合わせて面倒みてもらって、安心して仕事が続けられました。

その子も今や小学校1年生。平日は学区の児童クラブ。日曜祝日はナイス・キッズ。0歳のころから比べると子どもの世界は広がりました。でもやっぱりうちの子はナイス・キッズが大好き。何でかな?やっぱり楽しいですって!与えられた遊びではなく、自分達で考えて遊ぶことが…。子供達同士で色々考えて、自分達の楽しい遊びを見つけ出す。怒られて、時には痛い思いもして、自分でいろんな事が分かっていく。そんな環境がうちの子は好きなんだと思う。

これからこの子の世界は広がっていくけど、自分で考えて選べる力を自然に身に付けてほしいなあ。(Y/O)

知るほどに・・・ / ナイス・ケア

ヘルパーにとって、「〇〇さん入院したよ」と聞くと、「何かあったんだろうか…?」と同時に、「訪問時に何か変わったことはなかったか?体調の変化に気付かなかったんじゃないか…」と色々な思いが込み上げる。

先日も緊急入院した利用者さんがいた。『敗血症』と聞いてもピンとこなかった。

すぐに定例カンファで勉強会。知れば知るほど恐ろしくなった。利用者さんに変化があった時、ヘルパーの対応で一大事にならずに済むことがあるかもしれない。身近な存在と自覚し、観察力や知識を養わなくてはいけない。(T/Y)

何気ない日常の中で・・・ / 愛宕の家



朝晩めっきり涼しくなり、かといって昼間は30度を超えるかというくらい暑い今日この頃。入居者さんが着る服を、半袖にするか長袖にするか悩んでいます(笑)。季節の変わり目は体調管理に気をを使う。さて、愛宕の家に来てから2か月半ほどになるが、小さな嬉しい事がいくつか。

普段は(私には)ほとんど笑ってくれないHさん。デイサービスから帰ってきて洗濯物などを出していたら、半紙が出てきた。達筆な文字が書かれており思わず「うわ～、上手な字!」と叫んでしまった。するとHさん、「あ!恥ずかしいわ。」とニコッと満面の笑み。初めてみた笑顔。私がお休みを取った次の日出勤すると、「あら～、あなた昨日はいなかったわね。」とAさんに言われた。私のこと、覚えてくれているんだ。

正直、大それた目標や、高い志も掲げられぬまま手探りでやってきた。こんな些細な出来事の繰り返しで、前に進めるのだと分かった。(K/T)

小学2～4年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を大人が選び、掲載します。

にらめこ



杖の使い方 / 理学療法士

杖を使い出した時に、正しい使い方をマスターしておかないと、少し能力が低下した時にうまく杖を支えに出来ず、あまり役に立たない杖になってしまう。最初が肝心ということです。

杖を使う時に大事なことを数点!

- * 杖を持つ手は、患側と反対側。
 - * 一本杖歩行には①二動作歩行と②三動作歩行の二種類ある。
 - ① 杖・患側下肢(同時)→健側下肢
 - ② 杖→患側下肢→健側下肢
- Nさんは、三動作歩行でゆっくり歩いてもらいたいのだが、当事者は焦ってしまい二動作歩行。日常生活の中での歩行誘導の難しさを実感しています。(U/I)

笑顔のために / ナイス・デイ

ある日、天王川の木陰を歩いていると、彼岸花(曼珠沙華)の真っ赤な絨毯が一面に広がっていた。ある利用者さんが、「若いころカメラを持って来たことがある」と、小さな子供の姿に顔をほころばせる。遠い昔の記憶の中の一部を見た気がする。元気に同じ場所を歩ける幸せ。青い空と気持ちの良い空気の中で部屋の中では見られない笑顔が見られる。「たくさん歩いてお腹すいた…?おいしいお昼ご飯が待ってますよ」。車まで、もうひと踏ん張り、楽しく楽しく歩きましょう♪

秋、気持ち良い気候、利用者さん全体の様子を見て判断するタイミング、出掛け先…見えないところで色々工夫を凝らした計



画を立てる。すると、利用者さんに喜怒哀楽の表情が生まれる。「今日は楽しかった」「〇〇に行けてよかった」と、思ってもらえる事ができたらいいなあと思っと思っています。(K/N)

看護と介護 / 看護師

9月17日(火)、愛宕の家の入居者Iさんが朝、転倒した。転倒したことに本人もびっくりするわ、ショックを受けるわで興奮気味。今すぐ受診する必要はないと判断、少し安静にして、夕診でかかりつけ医に受診することにした。Iさんは転倒後、特に変わりなくベッド上で休んでいる。バイタルも安定。お昼になり、喉が渇き、ブドウとみかんを食べた。その後、嘔吐。嘔吐後もバイタル安定、意識状態も良好、緊急で総合病院に行く必要はなく、夕診でのかかりつけ医への受診という判断の変更はしなかった。嘔吐後も変わりなく、呼吸も穏やかに寝ていたはずだった。15時、突然、呼吸状態が悪化。右肺の雑音がひどかった。施設では何もできないと判断、直ぐに救急搬送とした。誤嚥性肺炎と診断、骨折や脳出血は認めなかった。嘔吐した際に、胃液の酸性が強いものを誤嚥したことで急激に呼吸状態が悪化したとのことだった。無事、回復して9/28には愛宕の家に戻ってきた。

今回の急変時の対応について事例検討会を実施することになり、現在、情報収集と資料作成をしている。作成している段階から、改めて施設で働く看護師としての力量を問われたような気がする。多種職が存在する施設で、その力量を大きく、そして正確に果たしていくためにしっかりと振り返りたい。(M/T)

編集後記

「こんな時はどう対応したらいいんだろう?どんな言葉をかけたらいいいんだろう?」利用者さんに対してだけでなく、関わる全ての方へ、人生経験が少ない私はホントにいつも迷う。その場その時の印象で、受け止め方や感情が動く。相手の気持ちを受け止め、気持ちいい関わりが出来るとなりたいと思う今日この頃。(Y/O)